

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2002年6月25日

この週は高温と熱風が州中央部と東部を覆い、冬小麦の澱粉蓄積には適さない条件であった。又、春小麦は出穂を早めた。但し、Blur Mountains に降雨が有り麓のアソティン及びガフィールド郡では小麦の澱粉蓄積に有効な適時の降水となった。中央地区から東南地区の1週間の平均最高気温は90～95度Fと極めて高くなった。ウィットマン郡の一部を除き、小麦シーズン中の累積降水量は平年の75～90%であり、オレゴン州小麦地帯より良好である。ウィットマン郡は略平年並みの降水量である。リンカーン及びアダムス郡の冬小麦の作柄は、殆どが多少平年を下回っている。高温・乾燥が同郡の春小麦の出穂を速めている。ワラワラ郡、コロンビア郡では6月17日に0.5～0.7インチの降雨が有り翌日にも雷雨が有った。しかし、小麦の水分不足のストレスは未だに残っている。一部で雹に因る被害が発生した。ウィットマン郡の冬小麦は良好な作柄である。

2002年6月23日現在

土壤水分状況：

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	4	29	67	0
Subsoil (%)	1	33	66	0
Irrigation Water (%)	0	0	100	0

小麦作況：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat Dry Land (%)	1	8	35	44	12
Winter wheat Irrigated (%)	0	0	0	94	6
Spring wheat Dry Land (%)	1	9	54	34	2
Spring Wheat Irrigated (%)	0	0	0	88	12

小麦進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-yr. Ave.
Spring wheat Headed (%)	55	43	72	70
Winter wheat Headed (%)	94	76	97	98

Source: Washington Agricultural Statistics Service

注：次号2002年7月2日の作柄レポートは休刊させていただきます。